

「ジャパン・レール・パス」の日本国内での試験発売について

1 ご利用資格

海外から「短期滞在」の入国資格により日本を訪れる外国人（※）旅行者

※ お買い求めの際は、日本国以外の政府等が発行した旅券が必要です。

※ 日本国以外の旅券のみを有する方に限ります（海外在住の日本国籍を有する方はご利用になれません）。

2 発売期間とご利用期間

- ・ 発売期間：平成29年3月8日～平成30年3月31日
- ・ ご利用期間：（7日間用）平成29年3月8日～平成30年4月6日
（14日間用）平成29年3月8日～平成30年4月13日
（21日間用）平成29年3月8日～平成30年4月20日

3 おねだん

種類	普通車用		グリーン車用	
区分	おとな	こども	おとな	こども
7日間用	33,000円	16,500円	44,000円	22,000円
14日間用	52,000円	26,000円	71,000円	35,500円
21日間用	65,000円	32,500円	90,000円	45,000円

※ パスのこども用は発売日において6歳以上12歳未満の方に限ります（12歳の小学生は大人となります）。

4 発売箇所

札幌駅、仙台駅、新潟駅、東京駅、新宿駅、横浜駅、名古屋駅、大阪駅、広島駅、高松駅、博多駅、新千歳空港駅、成田空港駅、空港第2ビル駅、東京モノレール羽田空港国際線ビル駅、関西空港駅

※ 各駅における具体的な取扱店舗・窓口については、後日ホームページにてご案内します。
<http://japanrailpass.net/index.html>

※ 払戻しは、発売箇所でのみお取り扱いします。ただし、クレジットカードでお買い求めの場合の払戻しは、お買い求めになった発売会社の発売箇所に限ります（発売額の10%の手数料が必要です）。

5 主な効力

➤有効期間は、利用開始日から連続する7日、14日、または21日です。

※利用開始日の変更はできません。

➤下表の鉄道・バス・フェリーが乗り降り自由です。なお普通車用では普通車が、グリーン車用では普通車及びグリーン車が、利用できます。

鉄道	JRグループ全線の新幹線（「のぞみ」号・「みずほ」号（ともに自由席を含む）を除く）、特急列車、急行列車、快速列車、普通列車及びBRT（一部利用できない列車・設備があります。） ※ 東京モノレールも利用できます。 ※ 青い森鉄道〔青森－八戸間〕（但し、普通・快速列車を使い、八戸～青森間、青森～野辺地間及び八戸～野辺地間を通過する場合に限ります。青森・野辺地・八戸を除き当該区間の青い森鉄道線の他の駅で下車した場合は対象外です。） ※ IRいしかわ鉄道〔金沢－津幡間〕（但し、普通・特急列車を使い、この2つの駅間を通過する場合に限ります。金沢・津幡を除き当該区間、または当該区間を越えてIRいしかわ鉄道の他の駅で下車した場合は対象外です。） ※ あいの風とやま鉄道〔富山－高岡間〕（但し、普通列車を使い、この2つの駅間を通過する場合に限ります。富山・高岡を除き当該区間、または当該区間を越えてあいの風とやま鉄道の他の駅で下車した場合は対象外です。）
バス	JRバス会社の各ローカル線（一部のローカル線は除く。乗車できる路線は変更になることがあります。） （JRバス会社＝ JR北海道バス、JRバス東北、JRバス関東、JR東海バス、西日本JRバス、中国JRバス、JR四国バス、JR九州バス） ※ JRバス各社の高速バス路線区間については、ご乗車になれません。
フェリー	JR西日本宮島フェリー〔宮島－宮島口〕 ※ JR九州高速船の博多－釜山（韓国）ジェットfoilは利用できません。

※ 東海道・山陽・九州新幹線の「のぞみ」号・「みずほ」号は、自由席・指定席ともに、ジャパン・レール・パスでは利用できません。「ひかり」号・「さくら」号・「こだま」号・「つばめ」号をご利用ください。「のぞみ」号・「みずほ」号を利用する場合は、運賃および特急料金（グリーン車を利用する場合は加えてグリーン料金）が別途必要です。

※ 東北・北海道・北陸新幹線のグランクラスを利用する場合は、特急料金、グランクラス料金が別途必要です。

※ 私鉄会社線を利用する場合は、利用各区分分の運賃・料金が別途必要です。（直通運転等によりJRが私鉄会社線に乗り入れる場合があります。）

6 ご注意

➤パスのお買い求め、ご利用は、パスに記載された記名人本人に限ります。ご本人確認をさせていただく場合がございますので、使用中は旅券を必ず携帯してください。

➤複数枚購入する場合、利用日が重複するパスを購入することはできません。